

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 5 区分
【発行日】 令和 7 年 1 月 6 日 (2025.1.6)

【国際公開番号】 WO2022/219963
【出願番号】 特願 2023-514510 (P2023-514510)
【国際特許分類】
D 0 6 C 25/00 (2006.01)
D 0 4 H 3/033 (2012.01)
【F I】
D 0 6 C 25/00 Z
D 0 4 H 3/033

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 12 月 20 日 (2024.12.20)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

フィラメント 3 次元結合体の融点以上の温度に加熱される高温部を有し、
前記高温部を前記フィラメント 3 次元結合体の切断面に当てることにより、当該切断面
を平滑化する切断面平滑化装置であって、
前記切断面と平行に搬送が行われる前記フィラメント 3 次元結合体について、当該切断
面を平滑化するものであり、
前記高温部は、
前記切断面に当たりながら前記搬送と同方向に回転するように配置されていることを特
徴とする切断面平滑化装置。

30

【請求項 2】
前記高温部は、前記搬送の上流側と下流側それぞれに配置されたローラーで張架支持さ
れたベルトの外側表面であることを特徴とする請求項 1 に記載の切断面平滑化装置。

【請求項 3】
前記ベルトは、前記上流側のローラーに設けた熱源によって加熱され、
前記ベルトの内側における前記各ローラーの間に、冷却風を供給することを特徴とする
請求項 2 に記載の切断面平滑化装置。

【請求項 4】
前記ベルトの外側表面に対して、当該外側表面から前記切断面を離れ易くする塗布処理
を行うことを特徴とする請求項 2 または請求項 3 に記載の切断面平滑化装置。

40

【請求項 5】
フィラメント 3 次元結合体の融点以上の温度に加熱される高温部を有し、
前記高温部を前記フィラメント 3 次元結合体の切断面に当てることにより、当該切断面
を平滑化する切断面平滑化装置であって、
壁面である前記高温部と、
前記切断面を露出させて前記フィラメント 3 次元結合体を固定支持する固定振動台を有
し、
前記固定振動台は、
前記切断面を前記壁面に当てながら当該切断面と平行に振動することにより、当該切断
面を平滑化することを特徴とする切断面平滑化装置。

50

【請求項 6】

前記壁面には、当該壁面への樹脂の付着を抑えるコーティングが施されたことを特徴とする請求項 5 に記載の切断面平滑化装置。

【請求項 7】

前記フィラメント 3 次元結合体を連続的に形成して排出するフィラメント 3 次元結合体製造装置と、

前記排出されるフィラメント 3 次元結合体を所定間隔ごとに切断する切断装置と、

前記切断によって生じた切断面を平滑化する請求項 1 に記載の切断面平滑化装置と、を備えたことを特徴とする製造システム。

10

20

30

40

50